

持続的な経済成長のために ～ 2019年の年頭にあたって～

公益社団法人 東京屋外広告協会 会長 大久保 秀夫



新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

さて、わが国の経済社会は、少子・高齢化に伴う人口減少とそれに伴う社会保障・財政健全化が最大の課題です。とりわけ企業にとっては、生産年齢人口の減少による人手不足が深刻になっておりますが、この問題に関しましては、昨年、大きな動きがございました。女性や高齢者の更なる活躍、ライフスタイルに合わせた多様で柔軟な働き方、雇用形態に関わらない公正な待遇の確保を柱とした働き方改革実行計画の実現に向け、働き方改革関連法が6月に成立しましたし、12月には、外国人材の新たな受入れ制度の創設が盛り込まれた改正出入国管理法が成立しましたので、企業としては、多様な人材の活躍を通じて、生産性の向上に結び付けられるよう、大いに期待したいところであります。

このような取組みは、これからも日本経済が成長軌道を維持するために必要ですが、この他にも取り組むべき課題は多々ございます。グローバル需要は更に拡大し、デジタル技術の高度化・普及が加速する中では、イノベーションへの適応は最も重要です。もちろん、屋外広告分野にとっても社会変革に適応した取組みを進めていくことは競争力強化にもつながることと存じております。

一方、2020年東京オリンピック・パラリンピックまで1年半になりました。これから開催に至るまでの期間は、大会の成功に向けて着々と準備が進み、機運も高まることから、世界の衆目が東京に集まることは言うまでもありません。同時にインバウンドの急増もあり、内外に世界に冠たる都市・東京の理解を深めてもらう絶好の機会でもあります。当協会といたしましてもこの期間をさまざまな活動でアピールしてまいりたいと存じます。

そして、当協会は、次の10年に向け、屋外広告物の発展はもとより、首都東京に相応しい都市景観の形成、わが国経済社会の発展のために、その目的に沿った事業をより積極的に展開してまいる所存です。皆様、一層のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

2019年が皆様にとりまして、益々飛躍の年でありますよう心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

(東京商工会議所副会頭・株式会社フォーバル会長)

| | | | |
|---|------|---------------------------------------|------|
| 特集 | 2～3頁 | 新会員紹介 | 8～9頁 |
| 「障がい者スポーツの将来像と 2020年に向けた取り組み」 (公財)日本障がい者スポーツ協会 井田 朋宏氏 | | (株)小田急エージェンシー 富士フィルムイメージングシステムズ(株) | |
| 東京屋外広告協会講演会 | 4頁 | 屋外広告の売上高 | 10頁 |
| 世界に誇る「東京港」新東京丸での視察会 | 5頁 | 事務所移転のお知らせ | 11頁 |
| 会議報告 | | 日本のサインと空間デザイン | 12頁 |
| 平成30年度第2回理事会開催 | 6頁 | 事務局だより | 12頁 |
| 委員会報告 | 7頁 | | |

あなたの未来を、カタチに。



株式会社フジサワ・コーポレーション

藤澤工業株式会社 株式会社ローヤルカラー 株式会社サワダ

<http://www.fujisawa-corp.co.jp>

本社 〒171-0051 東京都豊島区長崎1丁目10番地8号
 コマーシャル・イメージング事業部 TEL 03-3973-1641 / FAX 03-3973-2517

障がい者スポーツの将来像と 2020年に向けた取り組み

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会

企画情報部長 井田 朋宏

1964年に開催された東京パラリンピックを契機に、日本の障がい者スポーツの振興がはじまりました。それから半世紀が経過し、スポーツ基本法の公布や文部科学省への移管が実現し、障がい者スポーツも他のスポーツと同じ枠組みの中で取り扱われるようになりました。しかし現実の社会では、施設などのインフラや障がい者に対する心の持ち方など様々な壁が存在し、障がいのある人が個性や能力を社会で存分に発揮できない状況にあります。



パラリンピックは今や世界40億人が視聴する国際スポーツイベント

障がい者スポーツの国内統括団体である当協会では、2020年開催のオリンピック・パラリンピックの開催都市が東京に決まる半年前の2013年3月に「障がい者スポーツの将来像（ビジョン）」を発表しました。ビジョンのめざすところは、スポーツを通じてソフト・ハード両面のバリアを払拭し、障がいの有無に関わらず誰もが多様な個性を発揮して輝くことができる「共生社会」を実現することです。ビジョン実現のための施策の大きな柱は、障がいのある人がない人と同じように、いつでも、それぞれの目的に応じて身近な地域でスポーツを楽しめるようにする「普及・振興」と、パラリンピック等の国際競技大会で活躍できる選手を育成するための「競技力向上」です。この両面をバランスよく進め好循環させていくことがビジョン実現のために重要であると認識しています。

「普及・振興」では、障がいのある人がない人と共に公共スポーツ施設や総合型スポーツクラブでスポーツに参画できるようにするための事業、障がい者のスポーツ活動を支えるスポーツ指導者の育成、生涯スポーツ実施の登竜門とも言える「全国障害者スポーツ大会」の主催など、障がいの

人が通う。心が、かよい合う。

交通メディアのトータルプランニング

Advertising Agency

SHUNKOSHA

株式会社春光社

〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-5 TEL:03-3538-9320 (代) <http://www.shunkosha.co.jp/>



パラリンピックには障がいに対する人々の認識を変え、社会を変えられる力がある

ある人のスポーツ参加を促す取り組みをしています。その他、国民の障がい者スポーツに対する理解を深めるための様々な広報・啓発事業も行なっています。

「競技力向上」では、競技団体が行う強化合宿や国際大会派遣等、選手強化に必要な事業に対する支援をはじめ、競技団体の基盤整備や専任スタッフ制度の設置、国やスポーツ関係団体と連携した医科学的な支援、セカンドキャリアを踏まえたアスリート雇用や女性特有の課題を

解決するための支援などに取り組んでいます。

2020年の東京パラリンピックに向けた取り組みでは、「全競技会場を満員にして、その中で日本代表選手が活躍できるようにすること」を目標としています。「会場満員」を目標にしたのは、残された機能を最大限に活かし限界に挑戦するパラリンピアンをの姿を観ることで、人々の障がい者に対する認識や態度を変え、多様性を包容する社会への変革を促すことができるからです。しかし、競技の魅力やルール、パラリンピアンへの認知度などは依然低いのが現実であり、このままではすべての競技会場を満員にすることはできません。そこで、当協会では、主催大会（ジャパンパラ競技大会。2018年度は6大会開催）を活用して障がい者スポーツの魅力を知っていただきファンになってもらう取り組みを行なっています。具体的には、大会開催地の近隣にある小中学校で体験会を開催するとともに、総合学習の一環で大会観戦にきてもらう取り組みをしています。体験会で選手のファンになった児童の中には、体験談を家族に話し、週末に家族や知人と共に観戦にきてくれることもあります。また、当協会の協賛各社様には通訳や受付などの運営ボランティアとして参加していただいたり、ご家族で観戦に来ていただいたりしています。「日本代表選手の活躍」も重要な目標です。そこで、先述の「競技力向上」のための取り組みに加え、東京パラリンピックに特化した特別強化委員会を設置し、東京パラリンピックで金メダル獲得の可能性の高い選手・チームに特化した強化支援を行なっています。

満員の会場でパラリンピアンが大活躍する姿が世界中に発信されることは、パラリンピックの価値を最大化するだけでなく、日本が障がいのある人に対して深い理解を示す成熟した国だということを示す好機にもなります。2020年東京パラリンピックを一過性のイベントとして終わらせるのではなく、この大会を起爆剤にして、誰もが多様な個性を発揮して輝くことができる「共生社会」の実現を加速させたいと思います。

東京屋外広告協会講演会 「JR東日本グループの経営ビジョン～変革2027～」

東京屋外広告協会は11月13日、ジェイアール東日本企画会議室にて講演会を開催しました。

現在、少子高齢化による人口減少は、社会構造の大きな変化をもたらしておりますが、これらの変化を見据えつつ、企業はグローバル化やAI、IoT、働き方改革への対応など、避けて通ることができない課題に直面しています。今回はこのような来るべき経済社会を見据え、グループ全体の新たな方針を出されたJR東日本の「経営ビジョン～変革2027～」について、その策定に携われた東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 総合企画本部経営企画部長の根本英紀氏を講師に講演会を開催しました。



当日は当協会会員を中心に80人超の参加者で会場は満席となりました。

「変革2027」は、『ヒト(すべての人)』を起点に『安全』『生活』『社員・家族の幸福』にフォーカスし、都市と地方、世界を舞台に“信頼”と“豊かさ”という価値を創造していくこととしています。

その中で「安全」については、信頼というブランドをより大きくする取組みを推進すべく、その一例として2018年10月に「事故の歴史展示館」をリニューアルオープンしています。また、地域社会のより良い未来に貢献をするため、子育て支援施設の拡大、快適な車両の運行、さらには羽田空港へのアクセス線の構想も打ち出されています。さらに、ソフト、サービスのより充実を図るためエキナカの利便性向上とともにグローバル視点からの駅づくりなどを目指すとしています。そして、地方においては“駅”がコミュニティ施設などを併設して地域の拠点としての姿も描かれています。

これから、広告を取り巻く環境は大きく変化していく中で、広告の持つお客様とのコミュニケーションの重要性は変わらず、より高まっていくのではないかと、今後広告における「変革2027」を共に描き実現していきたいと結びました。

街を彩る要素の一つである屋外広告は、都市の変化に影響を受けます。鉄道を中心に大きく変わる都心の将来の姿に対して高い関心が寄せられています。集まった参加者はメモを取るなど、熱心に聞き入る姿が多く見られました。

地域コミュニケーションは、
良質なメディアで。

●電柱広告●交通広告●屋外広告●広告企画

株式会社

東 広

本 社 〒104-0045 東京都中央区築地1-12-22 コンビル5階
Tel.03(3546)1050(代) Fax.03(3546)1060

ホームページ <http://www.toko-ad.co.jp>

世界に誇る東京港「新東京丸」での視察会

株式会社ベレイマージ 代表取締役 仲村 邦弘



東京屋外広告協会事業委員会（大塚尚司委員長：オリコム社長）の大きな目玉行事として、東京港の視察会を2度にわたり計画したところ、多くのご参加を頂きました。特に11月6日（火）の第2回では、海は一面の霧雨に包まれているにも拘らず、53名のご参加で新東京丸の船室はほぼ満員の盛況でした。視察した東京港は、400万人を擁する首都圏の生活と産業を支える物資の流通を支えています。さらに円滑な流通を図るため、ふ頭や倉庫、橋や道路・トンネルを整備して、港湾機能の充実・強化を図っていることが良く理解できました。

また、臨海副都心では、ビジネスと観光の拠点として、賑わいと活力のある街づくりが進んでいます。一方、商業の重要な役割として、10月には豊洲市場もオープンしています。

2020年に向けては、東京オリンピック・パラリンピック会場として施設の建設も着々と進んでいます。アーチェリー・ボート・カヌー・馬術・ホッケー・テニス・バレーボ

ールなど、多くの種目の会場建設が始められようとしていました。

東京国際クルーズターミナルの整備も徐々に進められています。東京港に於いてクルーズ客船の大型化に対応するため、新たな客船ふ頭をレインボーブリッジの影響を受けない臨海副都心地域に予定されていました。50mを超える高さの豪華大型客船が、レインボーブリッジの下を通れなくなったためです。青海客船ターミナルとして、係留施設1バース及びターミナルビルを整備中でした。

更に圧巻は、地上100mの「東京ミナトリエ」（青海フロンティアビル20階）から東京臨海部を俯瞰できることでした。大きな室内は、江戸の河岸の様子を再現したジオラマや400年の歴史年表で、現在に至る東京湾を振り返ることができました。

このように活況を呈している東京港を新東京丸に乗って間近に体験し、みなさま楽しみながら今後のビジネスに夢をはせていらしたことと思います。大変有意義な3時間の船による視察会でした。



あらゆるニーズに応えます。

都営交通広告会

お問い合わせは

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-5 京橋スクエア
株式会社 春光社内

TEL 03-3538-9320(代) FAX 03-3538-9220

平成30年度第2回理事会開催

70周年記念事業、コンクール実施などを審議

10月2日、丸の内二丁目ビルにて東京屋外広告協会平成30年度第2回理事会が開催されました。

開会にあたり、大久保会長から、「今夏の地震や風水害などの被災地の一刻も早い復旧・復興を心より願うものであります。一方、わが国経済は景気の緩やかな継続的回復が期待されていますが、世界経済における通商問題の動向には留意が必要かと思えます。」などの挨拶がありました。

理事会は理事23名（理事24名）、監事3名の出席を得て大久保会長の議事進行により会議が進められ、まず9月25日に開催された総務委員会で検討した理事会に因る事項について間宮総務委員長より報告がありました。

続いて高村副会長から東京屋外広告コンクール実施委員会の報告があり、事務局より資料に基づき「第11回東京屋外広告コンクール」について、従来通り対象部門は4部門、平成29年1月から2年間の間に都内に掲出された屋外広告が対象となること、3月19日に表彰式を行うことなど詳細な説明がなされ、満場異議なく原案通り承認されました。その後2件の新入会員について承認されました。



さらに70周年記念事業について各委員会から報告がなされました。式典、講演会の開催については間宮常任理事（総務委員会委員長）から、新東商ビルを会場とし、記念講演会は2020の前年であることからパラリンピアンの高橋和樹氏（2016年リオ・パラリンピック、ボッチャ代表）、そして（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会パラリンピック統括室長の中南久志氏を講師に招くことなどの説明がなされました。続いて式典当日配布する予定の70周年記念誌について稲川常任理事（編集小委員会委員長）から掲載内容及び名刺広告の募集を行うことなどについて説明があり、それぞれ事務局より詳細な説明の後原案通り承認されました。

また2020年度までの3年間の組織基盤の強化の取組みとして会員増強を実施することについて間宮常任理事（総務委員会委員長）から説明があり、会員増強にむけての取組みとして今後の事業展開については大塚常任理事（事業委員会委員長）から説明があり、満場異議なく原案通り承認されました。

第2回理事会は滝副会長の閉会の挨拶があり、滞りなく終了しました。

企画からデザイン・撮影・施工まで、あらゆる
ビジュアルニーズに応える総合コマーシャルラボ。

デジタルの美しさを、人へ、街へ。

- 銀塩写真、インクジェット出力ともにデジタル対応
- 屋外広告やバス/地下鉄のラッピングなど幅広く対応

IGG 株式会社 ラボ・銀座
東京都中央区日本橋箱崎町20-13
TEL. 03-5614-4440 〒103-0015

委員会報告

東京屋外広告コンクール、70周年の記念事業などを審議

第2回理事会上程事項を審議

総務委員会（委員長：間宮泰三常任理事・協立広告会長）が9月25日に協立広告株式会社社会議室にて開催されました。間宮委員長の開会挨拶の後、10月2日開催の第2回理事会にて審議する内容等について協議しました。今回の主な内容は予定されている第11回東京屋外広告コンクール、70周年記念事業など当協会における節目の大きな事業であることから、それぞれの事業の詳細について説明がなされました。また、当協会のさらなる組織基盤強化のために会員増強の取組を推進することについても説明があり、各々理事会上程事項として審議をしました。

第11回東京屋外広告コンクールの実施に向けて

東京屋外広告コンクール実施委員会（委員長：高村徹 副会長・昭和ネオン社長）が9月19日に丸の内二丁目ビル会議室にて開催されました。募集部門はこれまで通り4部門とし、平成29年1月～30年12月まで都内に掲出された屋外広告が対象で、来る2020年のオリンピック・パラリンピック開催を控え、建築物や景観との調和のとれた優れたデザインの表彰を目指すとなりました。応募期間は11月26日から平成31年1月16日まで、表彰式は3月19日に学士会館にて開催することとなりました。

70周年記念誌について検討

広報委員会編集小委員会（委員長：稲川一 常任理事・文宣社長）が10月16日、11月29日、12月18日と3回にわたり春光社会議室で開催されました。今年度は通常の会報だけでなく、会報特別号として発行し平成31年1月29日の記念式典にて配布の予定の70周年記念誌の内容及び進行状況の確認などを行いました。また平成31年新年号について内容の検討も行いました。

第3回東京都都市整備局長奨励賞の選考

車体利用広告デザイン審査委員会（委員長：福山達雄 常任理事・日広通信社社長）が12月20日に東京国際フォーラム会議室にて開催されました。福山委員長の挨拶の後、平成29年1月からの2年間に申請された車体利用広告デザインの中から、優れたデザインを表彰する第3回東京都都市整備局長奨励賞の選考を行いました。受賞作品については来る第11回東京屋外広告コンクールの表彰式にて、同賞を表彰するとしました。また、引き続き車体利用広告デザイン審査の中での問題点などの協議が行われました。

The Visual Communication Company

キングプリンティング株式会社
www.kingprinting.co.jp

□ 東京支社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-12-7 ユニデン八丁堀ビル1階 ☎03(5117)2025

新会員紹介

お客さまと常に寄り添い、ともに繁栄する ベスト・パートナーを目指して

株式会社小田急エージェンシー

この度、貴協会に入会させていただくこととなりました株式会社小田急エージェンシーと申します。弊社は、国内最大のターミナル駅である新宿を起点に都心から住宅街、そして箱根や江の島などの観光地を結ぶ小田急線を核とする小田急グループのハウスエージェンシーとして1990年に発足し、メディア、クリエイティブ、プロモーションはもちろん、PRやスペースデザインといった機能をフルに備えるマーケティング・コミュニケーションの専門会社へと発展してまいりました。

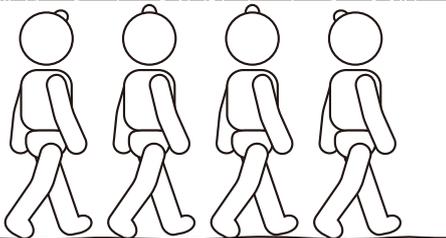
弊社は、小田急線の駅や車内のスペースの様々な交通広告媒体などを活用した効果的なコミュニケーションの実現のみならず、小田急グループが展開する様々な事業を通じた沿線生活者や利用顧客とのコミュニケーション等により蓄積したナレッジを活用して、小田急グループ各企業、小田急沿線の企業・自治体・学校などをはじめとした幅の広い業種のお客さまの課題解決をサポートしています。

弊社の企業スローガンは「All for Your Success すべてはお客さまの成功のために」です。私たちは、お客さまと常に寄り添い、ともに繁栄するベスト・パートナーを目指しております。

今後ともご厚誼、ご指導賜りますようよろしくお願いいたします。



**進化するOOH。
メディア開発力のNKB。**



つい見てしまう。なぜか気になってしまう。
そんな広告を作りませんか？
生活者の行動を捉えるプランニング力と、
最新技術を取り入れたメディア開発力で、
御社のプロモーションを強力にサポートいたします。

INTERACTIVE COMMUNICATION
NKBINC.

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-1-3 東京宝塚ビル
TEL.03-3504-2100(代)
<http://www.nkb.co.jp/>

新会員紹介

確かな技術力でお客さまの創造を実現化する お手伝いをいたします

富士フィルムイメージングシステムズ株式会社



この度は、長年にわたり美しい東京都景観の維持・形成、および屋外広告の価値向上にご尽力されてきた貴協会への加盟のご縁をいただき、会員の皆さまには厚く御礼申し上げます。

弊社は、富士フィルムグループにおける「写真・映像・情報サービス」の国内販売会社として、2012年に設立いたしました。以来、高品質・高セキュリティによる信頼性と使いやすさを兼ね備えた製品・サービスを開発、ご提供し続け、多くの人々に感動を伝えるお手伝いができるように、写真・映像・情報サービスの新しい価値創造を進めさせていただいております。

屋外広告の分野では、駅や空港をはじめ、ビル壁面や商業施設などに、大型出力技術を駆使した広告・サインディスプレイを制作・施工しており、特に色調再現性を求められるお客さまには、銀塩写真で培ったカラーマネジメント技術を生かして、ハイブランドイメージを忠実に再現いたします。

また、弊社では、ディスプレイビジネスに関わる「企画」「現地調査」「出力」「加工」「施工」などを一貫して行っており、これまでに蓄積されたノウハウで、あらゆる設置状況に応じた最適な素材をご提案し、お客さまの創造を実現化のお手伝いをしております。こうした安心・安全の一貫サポートと、実績に裏付けられた確かな技術力で、最適な屋外広告展開をご提案いたします。

2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向け、東京がますます世界からの注目を集める中、屋外広告業界の盛り上がりには寄与できるよう一層精進を重ねてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。




東京地下鉄広告会

【事務局】
〒105-0003
東京都港区西新橋1-6-21
NBF虎ノ門ビル4階
株メトロアドエージェンシー
媒体本部 媒体管理局 管理部内
TEL 03-5501-7835
FAX 03-3593-6150

東京の“ど真ん中”に情報発信

屋外広告の売上高 対前年同月より1%増

特定サービス産業動態統計調査 9月確報 (平成30年11月20日) より

平成30年11月20日に経済産業省から「特定サービス産業動態統計調査」9月の確報が発表されました。9月の広告業全体は前年同月比0.3%減の5,019億円、4媒体が2.8%減少の1,549億円、屋外広告は51億円の同1.0%増で5月以来の増加となり、これは製造業、外食や各種サービス業が伸びたことによるようです。一方で交通広告は161億円で1.5%増、インターネット広告は645億円で6.1%増となりました。また、海外広告が対前年同月より87.8%増92億円となっており、情報産業、精密機械、事務用品などが増加したことが要因とみられます。

(単位:百万円)

| 区分 | 9月売上高 | 構成(%) | 前年比(%) |
|-------------|--------------|------------|--------------|
| 4媒体広告合計 | 154,941 | 30.9 | 97.2 |
| 屋外広告 | 5,133 | 1.0 | 101.0 |
| 交通広告 | 16,115 | 3.2 | 101.5 |
| 折込・ダイレクトメール | 49,073 | 9.8 | 94.6 |
| 海外広告 | 9,233 | 1.8 | 187.8 |
| SP・PR・催事企画 | 71,907 | 14.3 | 96.2 |
| インターネット広告 | 64,518 | 12.9 | 106.1 |
| その他 | 130,984 | 26.1 | 100.5 |
| 合計 | 501,905 | 100.0 | 99.7 |

経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」9月確報
(30.11.20より)

※4媒体は、新聞、雑誌、テレビ、ラジオ

※数字は調整されています。

(詳細はホームページ：経済産業省⇒統計⇒統計表一覧)

| 区分 | 7~9月売上高 | 構成(%) | 前年比(%) |
|-------------|---------------|------------|-------------|
| 4媒体広告合計 | 450,492 | 32.3 | 97.5 |
| 屋外広告 | 13,673 | 1.0 | 94.5 |
| 交通広告 | 46,400 | 3.3 | 99.2 |
| 折込・ダイレクトメール | 144,205 | 10.3 | 95.5 |
| 海外広告 | 12,459 | 0.9 | 90.9 |
| SP・PR・催事企画 | 178,637 | 12.8 | 94.3 |
| インターネット広告 | 174,345 | 12.5 | 105.3 |
| その他 | 375,378 | 26.9 | 106.8 |
| 合計 | 1,395,589 | 100.0 | 100.0 |



屋外広告・放送広告・交通広告・デジタルサイネージ事業

NAGATA

長田広告株式会社 東京支社 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル6F

Network営業部 TEL.03(3278)7321 FAX.03-3278-7322 媒体開発部 TEL.03(3278)7325 FAX.03(3278)7327

事務所移転のお知らせ

東京屋外広告協会はこのたび旧東京商工会議所ビルの建て替えが完了し、下記のとおり事務所を移転いたしましたのでお知らせ申し上げます。

新事務所

住 所

〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-2-2

丸の内二重橋ビル 6階

電話：03 (3213) 1963 FAX：03 (3212) 3718

※電話・FAXについて変更はございません。



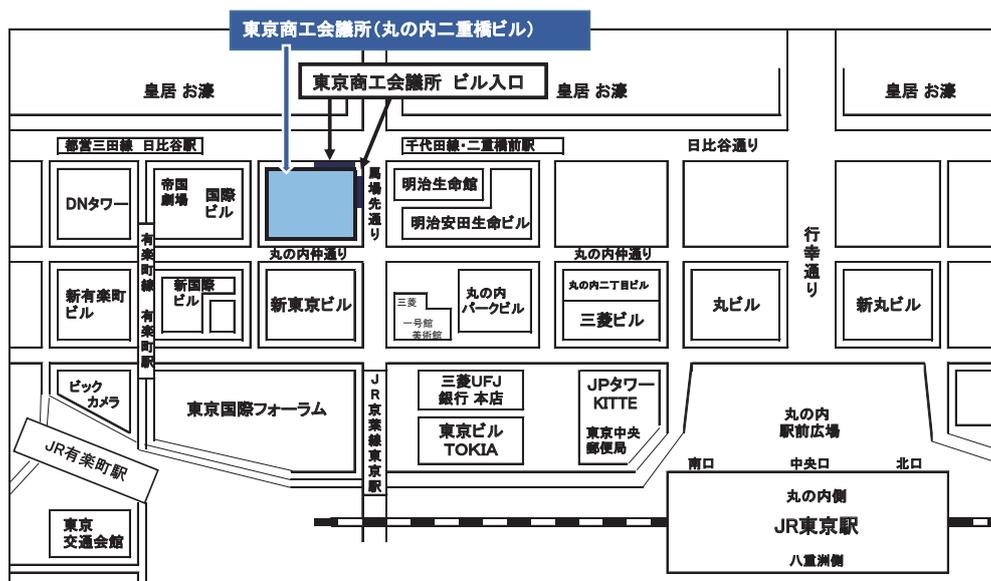
皇居側から見た新ビル(左側)と丸の内の風景(事務局撮影)

丸の内二重橋ビル

「富士ビル」「東京商工会議所ビル」「東京會館ビル」の三棟一体での建て替えを実現。

文化、交流、観光など多彩な機能を有した地上30階、地下4階の複合ビルです。

近隣駅とは地下通路で繋がっています。



交通アクセス

JR 東京駅(丸の内南口)より徒歩10分
京葉線 東京駅6番出口より徒歩3分
有楽町駅 国際フォーラム口より徒歩5分

地下鉄 下記駅より B5出口
千代田線二重橋前(丸の内)駅
有楽町線有楽町駅
日比谷線日比谷駅
都営三田線日比谷駅

Energy of Communication

広告もeCO時代へ。

あらゆる面から広告という情報力をプロデュースし、お客さまのニーズに合った広告戦略をご提案してまいります。

KYORITZ
ADVERTISING AGENCY
協立広告株式会社

〒160-0007 東京都新宿区荒木町13-8 協立ビル Tel:03-3355-1911 Fax:03-3355-4170 URL:<http://www.kyoritz-ad.co.jp>

日本のサインと空間デザイン

新しい幻想的な世界が人気

～森ビル デジタルアートミュージアム：エプソン チームラボ ボーダレス～

2018年6月21日にお台場のパレットタウンに「森ビル デジタルアートミュージアム：エプソン チームラボ ボーダレス」がオープンしました。ミュージアムには520台のコンピュータ、470台のプロジェクターが使用され、1万㎡という広大な場所に複雑で立体的な空間が広がり、中に入ると今までにない新しい幻想的な世界に包まれます。半年を過ぎてもなお人気は衰えず、多くの人を訪れています。



出典 月刊 Signs & Displays 2018年10月号(マスコミ文化協会発行)より

事務局だより

◆会議・行事等報告

東京屋外広告コンクール実施委員会
 9月19日(水) 14時～15時 丸の内二丁目ビル
 第2回総務委員会
 9月25日(火) 13時30分～14時30分 協立広告会議室
 第2回理事会
 10月2日(木) 14時～15時 丸の内二丁目ビル
 新東京丸視察会
 10月12日(金) 13時30分～15時
 第3回編集小委員会
 10月16日(火) 14時～15時 春光社会議室
 新東京丸視察会
 11月6日(火) 13時30分～16時
 講演会
 11月13日(火) 14時～15時 ジェイアール東日本企画会議室
 第4回編集小委員会
 11月29日(木) 14時～15時 春光社会議室
 第5回編集小委員会
 12月18日(火) 14時～15時 春光社会議室
 第2回車体利用広告デザイン審査委員会
 12月20日(木) 13時30分～15時30分 東京国際フォーラム

◆会議・行事等予定

70周年記念式典・記念講演会
 平成31年1月29日(火) 15時～17時 東商ルームA1A2
 70周年記念懇親会
 1月29日(火) 17時～18時 東京會館「ロイヤル」
 東京屋外広告コンクール審査委員会
 2月13日(火) 12時30分～17時 東商会議室
 第3回総務委員会
 3月上旬
 第3回理事会
 3月19日(火) 14時～15時 学生会館
 第11回東京屋外広告コンクール表彰式
 3月19日(火) 15時～16時 学生会館
 同懇親会
 3月19日(火) 16時～17時 学生会館
 第3回車体利用広告デザイン審査委員会
 3月中旬以降

<http://www.ad-nikko.co.jp>

伝えることが仕事です。



総合広告代理店
株式会社日広通信社

サイン・ディスプレイ/POP制作

電柱・交通広告/マスメディア

デザイン・印刷物・販促プランの提案

展示会トータルプロデュース

出展ブース企画・運営

〒102-0083 東京都千代田区麹町4-3-3 新麹町ビル2階 TEL.03-3263-3521(代) FAX.03-3263-3509